

あかるく かしこく たくましく

令和6年1月24日 No. 44 文責：校長 佐野紳二

大人エレベーター

何年も前から、お正月の2日、3日は朝起きると（お正月は遅寝遅起きです…）何とはなしにテレビのスイッチを入れ、チャンネルの4を押して箱根駅伝を見ることが習慣になっています。最初に駅伝を見るようになったのは、山梨学院大学が初参加した第63回大会（1987年開催）くらいからだ記憶しています。

調べてみると、現在の様に日本テレビで箱根駅伝の生中継が行われるようになったのも、ちょうどこの63回大会からなのだそうです。

その箱根駅伝を見ていると、必ず流れてくるコマーシャルが今日の表題になっている「大人エレベーター」です。きっとみなさんも一度くらい目にしたことがあるのではないのでしょうか。この「大人エレベーター」ですが、最初に放送されたのは2010年のお正月で、以来14年間、お正月の時期を中心に年間数本（1～5本、最近は2、3本が多いようです）が放映されています。今年のお正月はイングランドプレミアリーグ・ブライトン所属の三笥薫選手と歌手の奥田民生さんが出演したCMが放映されていました。



大人エレベーターという架空のエレベーターに乗ったメインキャラクターの妻夫木聡さんが、フロア数に応じた年齢の大人たちに出会い、「大人」というテーマについて本音で語り合うこのCM、誰もが一度くらい考えたことがあるであろう「大人とは？」という問いに、各界の著名人はいろいろな答えをされていて、見ていてとても興味深いCMです。子どもを通して各家庭に配信させていただいている学校通信に、ビールのCMは如何なものか…というご批判もあろうかと思いますが、著名人のみなさんが語っている内容の素晴らしさを優先して、今回、採り上げさせていただくことにしました。大人エレベーターに登場した著名人のみなさんは、「大人」をどのようにとらえているのか、前置きがすっかり長くなってしまいましたが、見ていくことにしましょう。

- ・「サッカー人」としての観点で言うと、ひとつは我慢ができることです。忍耐力がある人。一口に言っても、我慢する内容や時間、いろいろあると思うんですけど。もうひとつは賢い人ですね。人としても選手としても賢い人を見ていると「ああ、こうやって、大人の選手はどんどんレベルが上がっていくんだ」って思う。そういう人に比べると自分はまだまだだな、と思いますね。

中村俊輔【元サッカー選手】

- ・これまでは、いい意味でも悪い意味でも自分自身だったんだけど、今まで自分がやってきたこと、やらせてもらってきたこと、それを残したい、こいつらに渡してやりたいって気持ちになってきたことが、ひょっとしたら大人になったってことかもしれませんね。

Char【ギタリスト】

- ・（「大人がすべきことってなんだと思います？」と問われて）責任をもつことというか、一緒にいる人もなんとかすることかな？大人は自分だけがうまくいけばいいってわけにいかなくなってくるって。自分のためだけじゃない人って大人っぽくないですか？

奥田民生【ミュージシャン】

- ・大人って字の通り、大きい人のことかもしれないと思う。人の話が聞けて、理解力がある。

岸部一徳【俳優】

- ・責任をとれる人。ま、俺はとんないけど（笑）。あとは言い訳をしない人かな。俺は今までの人生ずっと言い訳し続けてきたけどね。あれ？もしかしたら俺、大人じゃないかも（笑）。

高田純次【タレント】

- ・大人って悟ることかもしれないけど、悟りすぎると楽しくないよね。うまくなりたいたか、面白くやりたいとかって欲がなくなったら、もしかしたら大人なんだと思うんだけど、それなくなったらやってる意味ない。

古田新太【俳優】

- ・大人とは、「歴史をつくる人」だと思いますね。だから、自分もこれから自分の歴史をつくっていく大人になっていきたいなと思います。やっぱり人生というのは、常に努力と精進だと思います。それが楽しみのひとつなんです

白鵬【第69代横綱】

- ・大人ってのは例えば今、妻夫木くんという時間とかが、たくさん積み重なっているだけという感じがするんだよね。そして、今ここにあることがまた次を支えていくって感じ。だから、大人ってのは今ここにある時をたくさん積み重ねて、それをまた次につなげていくことをしてきた人。

竹中直人【俳優】

- ・若いとき、いろんな名誉とかお金とかに異常な興味を示した自分が「本当に嫌だった」って思うときに、少しは大人になったなって。

北野 武【タレント・映画監督】

この大人エレベーター、最近は「大人とは？」という質問をあまりしなくなっている傾向にあります。例えば、昨年から今年にかけて放送されている三笥選手へのインタビューはこんな感じでした。

- ・ミスをした時に、どう気持ちを切り替えますか？
「自分を勘違いさせるっていうのも大事なと。自分が上手くいってるっていうふうに逆に思うっていうか。」
- ・サッカーとは？
「日常。歩いている感覚くらいでサッカーをやっているような。これはちょっと言いすぎましたかね。」
- ・悩む方ですか？
「悩む方ですね。自分と対話してる回数が多いかなとは、自分でも思います。」
- ・サッカーにおいて最もしてはいけないことは何ですか？
「手を使う、じゃないですかね。そういうことではなくですよ。…仲間割れじゃないですか。」
- ・今までで、限界って何か感じたことはありますか？
「ないですね。もう、伸びることを知ってしまえば、いつでも伸ばせると思っちゃいますね。」
- ・アシストとゴールを、どちらか選ばないといけないとしたら？
「決めるたびに、やっぱゴールいいなって。」
- ・これだけは負けたくないってありますか？
「サッカーのことを考えてるっていう量ですかね。」



正解のない問いに対する答えなので、「大人」の捉え方は人それぞれ、千差万別であるのが当たり前だと思います。なので、それぞれの著名人の話を聞いて「なるほど」と思ったり、「それはちょっと…」と違和感を感じたりするのも、人によってそれぞれだと思います。大人になるにつれて考えなくなってくる「大人像」ですが、みなさんはどんな感想をお持ちになったのでしょうか？

みなさんは、「大人とは」と問われたらどう答えますか？ぜひ、ご家族と一緒に考えてみてください。

